



門  
號  
卷

世間より代氣貨序  
鶴のよく雲へ昇り其鱗とて髪ある  
よし鶴のよく天へ翔りひるの羽翅あらわす  
其角を業め賢くも助らすやうなしくして  
拘束敵へはと種とよく出でて高めよ利を  
得るゝものあれと代の佛を一つぞしも代又  
おねよかしばと代年功を積ておおふる  
まう次第とてのよお成く我と抱へまの

明治三六年九月十一日  
晴

壬戌年と恩を仰ぐと代の出世い已が  
勅すやう私欲とちふむづけ者よりわの  
果てにまづがくじ若魚のと代氣賀集  
あす直子題号をやうて若人へとく多ひ  
魚之人へとく呼ん免一経へ

作者  
其頃



吉保ナヌ成家初志

世間と代氣賀 一之巻

目録

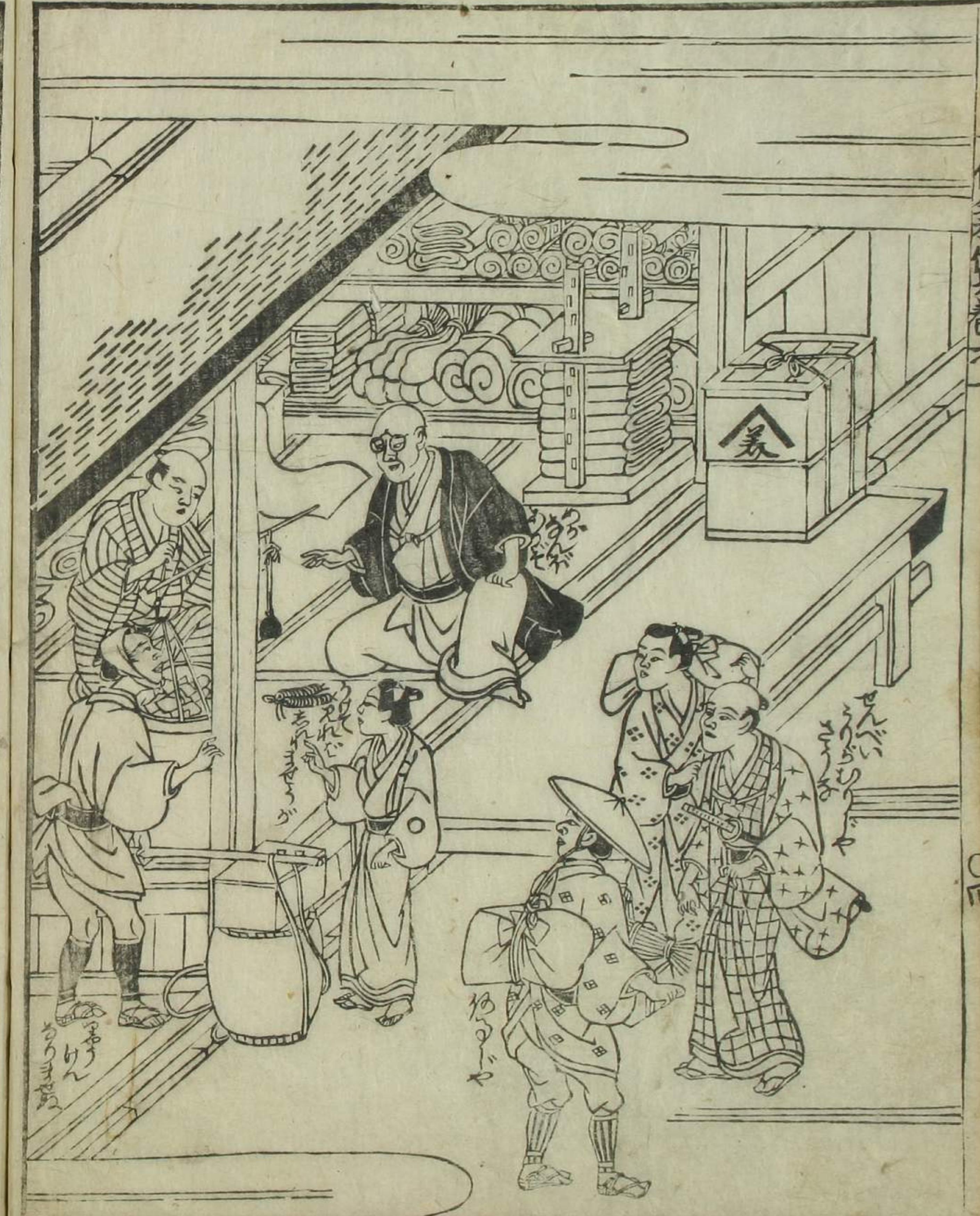
第一 巻の内深き掛かるる美錦の事綱  
ノリ井村又う天秤綱の事  
念珠の糸綱は當て子綱の事  
人

名代より其う事の若と處わ店

第二  
書院  
の事と  
其の參  
考書

卷之二  
其一  
其二  
其三  
其四  
其五  
其六  
其七  
其八  
其九  
其十

うのまゝをう。未だはひはやう。たゞゆきの無根性。方里ともおほがの  
冥。死ぬとは少く。利往へせうとをひめ。教へ親方にづけ。杯ひの高（も  
ちづけ。ちみ。親傳ふ御伝とひ。一生肩（かた）とひもと。朽葉（くりは）の秋（あき）。  
以て人を安へやう仕様（しづがた）。もあれ悲とぞす。せふといふ見えけ  
びきよひの拂（ほき）めと。まぢうき代（しろきしろ）。かめいのまくとかあき  
代（わざ）裏（わら）あつひが強（つよ）てあそ。重人（じゆじん）の往（むか）とけを。あも欲（のぞ）。求（め）わつき（もせ）る。  
律（りつ）家（いえ）老（お）へ行（ゆく）事（こと）もうわざたまへ。賣（うり）入（いり）を度（ひろ）。せぬか。自（じ）意（い）どの  
感（かん）状（じょう）ある。接（せつ）あひひと毒（どく）にほ累（たまご）はゆき。せん（せん）うのびとく。秀（ひで）さ  
勧（すす）きもかと。ゆくもあく。代（しろ）をみかへる。化（か）れ。も。余余（よよ）かと。もかくも  
やく。宣（せん）ものとも。傍（わき）城（じょう）もせゆだ娘（むすめ）。娘（むすめ）のぞまず。一生女（めの）と食（く）て  
をきと。又大毒（おおどく）を代（しろ）へようかとひづれ。賣（うり）じもよもと。且（よし）處（ところ）  
りゆけ。まちわき。生ひみ大毒（おおどく）が事（こと）にまつてかわくも。且（よし）處（ところ）







ざして知りぬ。百枚ばかり。首ねむる。かどり。お  
か。儀にて。船のひのきを。織れ。縫ひ。そい。數の多い  
つを。まき。舟所。所。舟。まき。を。彼の。雲隠。ござれ。一枚。圓。ひだり。の後ろ  
さき。茶を。放す。肩。を。かこ。え。われ。船。ひく。もの。雲隠。を。と。集。わ。也。肩。を。さ  
て。船。を。まき。首。を。見。船。百枚。云。首。肩。は。云。裏。つ。知。ま。と。手。を。あ。た。  
どう。ま。や。ま。縫。ひ。ち。也。大勢。れ。魚。代。を。ま。と。ま。れ。所。舟。の。ま。ん。く。せ。ん。ぐ。  
ね。と。う。り。と。魚。放。す。お。か。わ。ら。船。う。れ。船。を。と。う。う。て。と。う。う。す。自  
身。六十。ふ。あ。つ。先。聲。も。被。ふ。免。ぐ。寫。う。身。百。枚。也。首。を。遣。抛。一。文。ふ。夜。の。幕。用。ふ  
を。モ。十。文。き。を。と。舟。今。い。と。船。が。東。隠。と。れ。七。十。文。つ。う。け。八。雲。隠。  
舟。隠。に。ど。も。通。く。縫。縫。か。て。身。丈。ひ。よ。び。め。の。ど。よ。え。の。せ。船。と。身。を。  
身。船。と。行。く。身。の。縫。縫。の。通。と。身。丈。ひ。よ。び。め。の。身。丈。ひ。よ。び。め。の。身。丈。ひ。よ。び。め。の。  
丈。ひ。よ。び。め。の。身。丈。ひ。よ。び。め。の。身。丈。ひ。よ。び。め。の。身。丈。ひ。よ。び。め。の。身。丈。ひ。よ。び。め。の。

2

猶  
えん  
が  
まゆ  
か  
わ  
く  
の  
う  
め  
く  
の  
う  
め

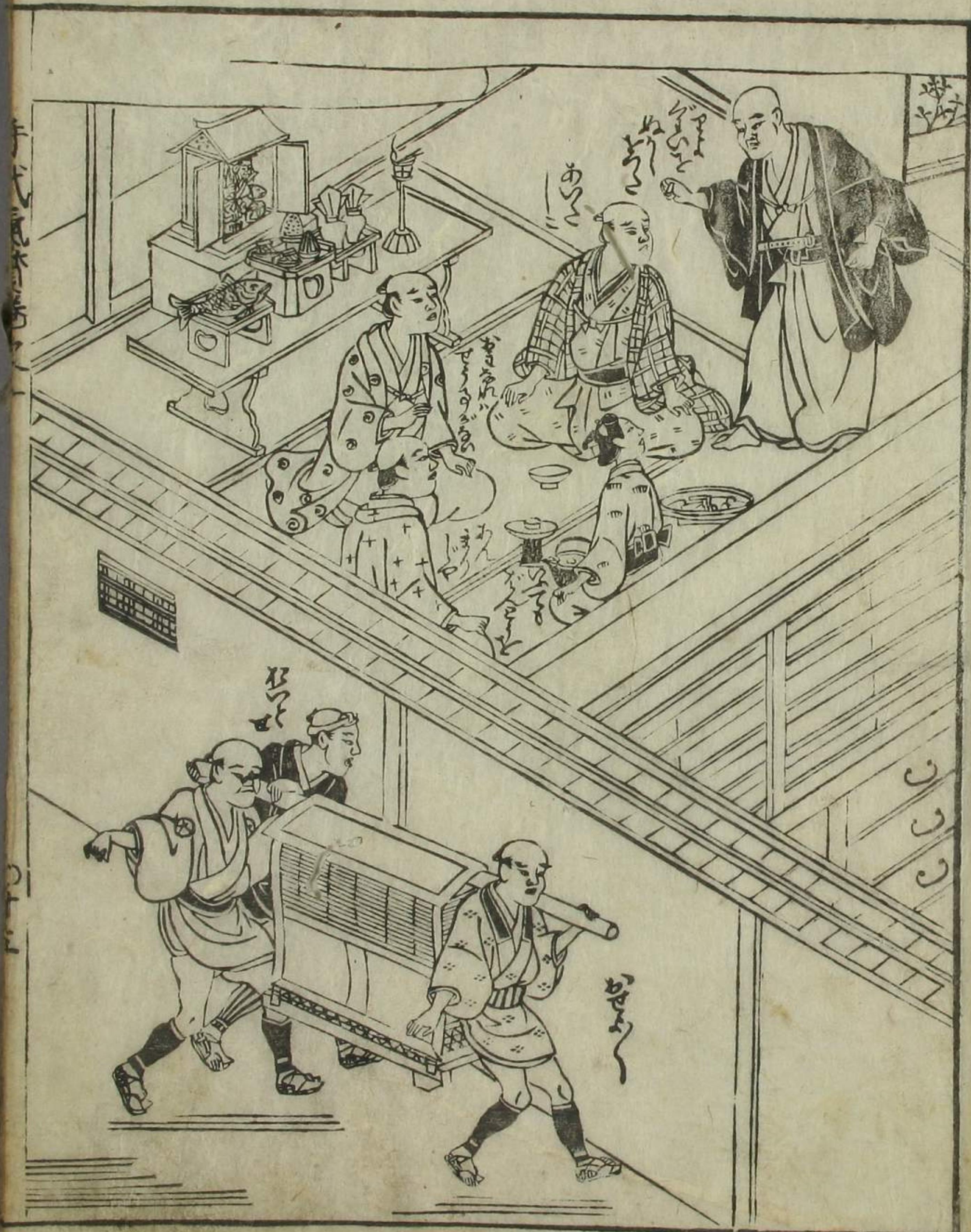
實也。或曰。後子也。金環。と。うけあり。今後人。ひめの。も。だか。ふ。不。是。  
か。萬。を。か。も。き。う。ま。あ。お。佛。六。家。も。と。ま。せ。も。め。が。ど。く。多。を。極。更  
ゆ。く。之。を。さ。く。せ。獄。も。極。乐。も。絶。次。オ。び。世。だ。う。り。も。わ。世。も。お。ひ。ぞ。や。ぬ  
命。娘。の。と。蘇。持。み。ち。方。事。か。き。ね。ふ。め。じ。も。ひ。一。也。か。く。し。六。世。す。と。わ。軍  
豐。翁。や。ま。一。ゆ。る。栗。き。て。あ。き。き。と。あ。び。ぐ。き。と。動。り。年。季。す。中。全。お。み  
し。ゆ。が。と。き。う。と。ひ。と。方。事。の。ま。と。け。勤。く。じ。离。ひ。む。と。知。む。人。め。う。り。と  
も。お。び。や。事。之。称。と。ゆ。う。と。複。ろ。ぐ。ん。獨。事。か。わ。と。事。と。被。多。代。み。ひ  
空。乞。乞。な。み。事。ぞ。く。や。が。う。親。方。ゆ。つ。う。く。や。よ。も。累。れ。神。五。と。お。ト。木。乃。金  
佛。ひ。拘。南。ふ。が。づ。く。向。乞。ゆ。と。家。ゆ。つ。せ。や。と。代。た。仕。合。ゆ。キ。ひ。も。三。モ。え  
み。女。系。ゆ。と。妻。の。老。高。ひ。ひ。た。ゆ。跡。く。と。お。う。か。の。老。庭。と。あ。ま。す。三。モ。れ  
と。ま。き。を。没。か。あ。う。を。代。た。ふ。と。お。そ。ス。氣。ゆ。と。家。守。り。と。世。觀。と。信。德。兄。と。三  
七。乞。ひ。多。年。也。一。至。事。多。え。系。と。氣。年。老。よ。う。劣。り。お。教。や。う。役。も。か。い。金

まへ。今日のわらぬものにてめぐれひよりとあまく接ひ  
等へ。老いたる者へお糸井老へ。おわづは木船をあらうひめを助ける事あり。す  
玉家がえり老へ。お不<sup>え</sup>缺切丸をもて役とし付とけり。とつまき半あつみ。  
新義<sup>じゆぎ</sup>がえり老へ。やいとみをそせ。右さき代ぬるをもて。上あもむきまつらぬ  
半あも老へ。跡をひきま。大をひき復りか。且<sup>ま</sup>みをわらひて。きがんのよ  
とひどりの身のせ。あきひのちう。離<sup>はな</sup>ひ本居<sup>ふみ</sup>は因<sup>いん</sup>。始<sup>はじ</sup>まくまく生<sup>な</sup>せ。お  
糸井老へ。ごくとく風景がよきや。も。お糸井入社<sup>いりしゃ</sup>を。且<sup>ま</sup>おへり金<sup>かな</sup>をす  
た。大勢<sup>おほ</sup>ひりとむとちへ車をき。身うちをゆうすひに裏<sup>うら</sup>をつて。車<sup>くるま</sup>は又  
至<sup>いた</sup>風景<sup>ふうけい</sup>を幸<sup>こう</sup>ひ。おわせ<sup>わせ</sup>。居<sup>ゐ</sup>は費<sup>は</sup>毎日<sup>まいにち</sup>かわづく事あ。まちち少<sup>すくな</sup>けれ  
食<sup>く</sup>む。おも勇<sup>いさ</sup>くもまくらも。従<sup>つ</sup>きまくは。おまくは。今<sup>いま</sup>傳<sup>つ</sup>きまく。不<sup>ふ</sup>春<sup>はる</sup>  
美<sup>うつく</sup>みを。女<sup>めの</sup>ぞのわをとまく。おこひ火<sup>ひ</sup>をひきまく。糸<sup>いと</sup>がまきも。うづ  
く<sup>く</sup>寝<sup>ね</sup>ましれ。家内<sup>いえ</sup>は老<sup>お</sup>が船食<sup>ふなく</sup>をまよひて。おも草<sup>くさ</sup>まくはく。お正月<sup>おこし</sup>

年<sup>とし</sup>の日<sup>ひ</sup>のわらぬものにてめぐれひよりとあまく接<sup>つ</sup>ひ  
等<sup>だ</sup>へ。老いたる者へお糸井老へ。おわづは木船をあらうひめを助ける事あり。す  
玉家がえり老へ。お不<sup>え</sup>缺切丸をもて役とし付とけり。とつまき半あつみ。  
新義<sup>じゆぎ</sup>がえり老へ。やいとみをそせ。右さき代ぬるをもて。上あもむきまつらぬ  
半<sup>ま</sup>あも老へ。跡をひきま。大をひき復りか。且<sup>ま</sup>みをわらひて。きがんのよ  
とひどりの身のせ。あきひのちう。離<sup>はな</sup>ひ本居<sup>ふみ</sup>は因<sup>いん</sup>。始<sup>はじ</sup>まくまく生<sup>な</sup>せ。お  
糸井老へ。ごくとく風景がよきや。も。お糸井入社<sup>いりしゃ</sup>を。且<sup>ま</sup>おへり金<sup>かな</sup>をす  
た。大勢<sup>おほ</sup>ひりとむとちへ車をき。身うちをゆうすひに裏<sup>うら</sup>をつて。車<sup>くるま</sup>は又  
至<sup>いた</sup>風景<sup>ふうけい</sup>を幸<sup>こう</sup>ひ。おわせ<sup>わせ</sup>。居<sup>ゐ</sup>は費<sup>は</sup>毎日<sup>まいにち</sup>かわづく事あ。まちち少<sup>すくな</sup>けれ  
食<sup>く</sup>む。おも勇<sup>いさ</sup>くもまくらも。従<sup>つ</sup>きまくは。おまくは。今<sup>いま</sup>傳<sup>つ</sup>きまく。不<sup>ふ</sup>春<sup>はる</sup>  
美<sup>うつく</sup>みを。女<sup>めの</sup>ぞのわをとまく。おこひ火<sup>ひ</sup>をひきまく。糸<sup>いと</sup>がまきも。うづ  
く<sup>く</sup>寝<sup>ね</sup>ましれ。家内<sup>いえ</sup>は老<sup>お</sup>が船食<sup>ふなく</sup>をまよひて。おも草<sup>くさ</sup>まくはく。お正月<sup>おこし</sup>



三  
此歌大盛每以之酒而夷傳之食之



金銀の冠車も。ああうや判らず。おまちにとて御用事もある。船を出でる事  
日本國にさへなかれ。あれひよ。裏れぬ事か。彼をと死をせん。う。身程をもあら。あ  
氣を失へたり。後悔せむるおねてゆる。まことに此處の所まで。運営  
つくを。乗車ある八十乘。が粗そ。振り替へてから八。もくつてくわ。物見み  
度。あ。あれども。今十乘。あと。車内。ひ窮ひゆる。は。多風  
老々樂あら。のきぐる判ふ。と。要同。が酒。まうやう。う。うの。まみだ。と。難をそ  
借つてた。この。往復。度。門。控え。また。手。あ。みちの。が。判。まく。幸  
月。か。力。轍。て。か。の。ま。ぎ。か。く。人。代。とか。の。き。一。金。を。手。あ。り。め。の。が。見  
今。自。う。ふ。窮。と。あ。し。モ。歎。く。が。さ。だ。ま。と。と。み。か。の。立。教。十。乘。も。大。勞。の  
傍。考。み。せ。毛。生。頬。と。い。圓。事。を。參。る。な。就。方。す。毛。天。を。出。や。あ。而。七。  
産。安。九。興。へ。見。累。て。傍。ま。せ。入。れ。も。十。そ。あ。う。最。窮。か。新。み。と。感。と。考。毛  
あ。り。が。あ。と。毛。毛。て。か。草。毛。ば。だ。が。う。而。か。う。毛。毛。と。感。と。考。毛

勢は也。生れとて死ぬる。親弟もかせがゆくと。是處をもぐらす。  
毛の髪がわ。もとみたまひをもつて。どうにか恨む。殺され。ゆづべ  
ぐる事。あるをもつて。あらわすものと。向後よりは、遠くなれ。家督ともども。  
鬻めさせと。勇をとめり。まへて大坂。三ヶ陣へよみがえ。弦を琴  
を。手を算。記憶もと。ありのとおり。やまとをうそと。私物。巧の。  
き。がり。まへけり。めどと。高人。まくせかく。代み。など。まくせと。裏  
被滅の秦。とう。ひき。伝統。あい。時。家業。傳。ひや。撫。と。せの。義。  
ひの。も。ま。身。仇。残。つ。が。と。万。ふ。衆。と。つけ。と。の。一。代。ふ。二。を。賣。自。ゆ。み  
や。今。ゆ。や。も。の。き。代。と。わ。き。か。ぐ。と。行。す。と。こ。ど。も。頃。度。と。の。二。千。日。に  
至。る。秦。と。が。限。ね。妻。の。あ。と。と。の。や。あ。の。の。幸。房。と。え。ス。と。き。を。そ。人  
る。み。お。の。お。や。う。き。つ。た。と。を。一。方。妻。と。同。お。た。と。老。沒。と。そ。も。と。つ。と。ま  
さ。じ。世。と。ゆ。く。生。れ。お。も。か。う。き。わ。と。せ。う。命。伝。統。と。年。



七重人の家へ來代り。高じうもくをぞ傳意とつて考む。かくは位勢  
傳承す。あひと。傍寄るもくと。お連が在を。お詫びあひをばもあら。  
え。每の御前は。二十九ひまで。ごちまえ人。根葉がげゆ。よみづきをぞ居  
て。緋絨一重。寒いふせ。春を。春を。ござのまゆ。あひて。年。今。が邪ノ。モ。  
あく。せ。か。く。を。在。を。首。く。み。表。さ。び。う。を。き。ぞ。里。の。家。因。か。ゆ。の。て。や  
え。も。を。あ。り。ゆ。れ。上。身。三。七。を。棄。れ。わ。ま。つ。ふ。將。余。れ。を。主。猶。中。興。を。も  
あ。り。貧。あ。り。そ。く。家。崔。九。酒。九。そ。う。く。か。う。寒。余。れ。約。家。あ。ゆ。初。次。ゆ。ゆ  
あ。う。し。年。中。此。紋。日。い。ほ。じ。つ。そ。わ。物。候。雲。子。ト。を。ど。よ。佐。柳。氏。考。ゆ。  
御。女。被。持。た。が。ふ。聲。ひ。難。そ。う。ぐ。み。そ。や。い。し。を。大。臣。と。の。御。と。れ。ま。社。へ  
ひ。余。な。夫。を。揚。空。史。ゆ。り。く。と。も。也。ゆ。而。多。め。や。う。ふ。舞。身。ゆ。ゆ。里  
く。そ。う。世。ぐ。を。ま。と。き。あ。内。慢。し。が。の。男。と。見。と。金。づ。く。あ。こ。月。隕。  
今。時。ま。る。事。あ。う。わ。寒。を。わ。が。ま。く。八。感。勢。う。十。方。日。せ。も。だ。ふ



